

2016年度(平成29年3月期) 第3四半期決算説明資料

2017年2月1日

株式会社 IHI



1. 2016年度第3四半期 連結決算

連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書).....	4
報告セグメント別内訳.....	5
営業外損益.....	8
特別損益.....	9
連結貸借対照表.....	10
補足資料.....	11

2. 2016年度 連結業績見通し

通期業績見通し.....	14
報告セグメント別内訳.....	15

3. 報告セグメント別の概況

資源・エネルギー・環境.....	19
社会基盤・海洋.....	21
産業システム・汎用機械.....	23
航空・宇宙・防衛.....	25

<参考資料>	27
---------------------------	-----------

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

1. 2016年度第3四半期 連結決算

1. 2016年度第3四半期 連結決算 連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書)

2016年度3Q 売上平均レート(米ドル) 106.36円

(億円)

	'15年度3Q	'16年度3Q	増 減
受 注 高	9,860	9,287	▲ 572
売 上 高	10,581	10,382	▲ 199
営 業 利 益	55	194	139
経 常 利 益	19	87	67
税金等調整前 四半期純利益	▲ 453	▲ 9	443
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 342	▲ 91	251

当連結会計年度から、一部の海外連結子会社の決算日を12月31日から3月31日に変更しており、当第3四半期連結累計期間においては、該当する海外連結子会社の会計期間が12か月となっています。この影響により、売上高で252億円、営業利益で27億円がそれぞれ増加しています。

1. 2016年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'15年度3Q	'16年度3Q	増減	'15年度末	'16年度3Q	増減
資源・エネルギー・環境	3,320	2,698	▲ 622	8,434	7,752	▲ 681
社会基盤・海洋	1,045	911	▲ 134	1,943	1,907	▲ 35
産業システム・汎用機械	3,172	3,186	14	1,380	1,590	209
航空・宇宙・防衛	2,249	2,341	92	5,410	4,356	▲ 1,054
報告セグメント計	9,788	9,137	▲ 650	17,168	15,606	▲ 1,561
その他	478	500	21	247	234	▲ 13
調整額	▲ 406	▲ 350	56	-	-	-
合計	9,860	9,287	▲ 572	17,416	15,841	▲ 1,575
海外受注高・受注残高	4,325	4,038	▲ 287	7,579	5,498	▲ 2,081
海外受注高・受注残高比率	44%	43%	▲ 1%	44%	35%	▲ 9%

1. 2016年度第3四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上高・営業利益)

(億円)

	売上高			営業利益		
	'15年度3Q	'16年度3Q	増減	'15年度3Q	'16年度3Q	増減
資源・エネルギー・環境	3,126	2,973	▲ 152	▲ 74	▲ 158	▲ 83
社会基盤・海洋	1,117	1,075	▲ 41	▲ 357	▲ 167	190
産業システム・汎用機械	2,894	2,985	90	72	112	40
航空・宇宙・防衛	3,346	3,226	▲ 119	434	416	▲ 18
報告セグメント計	10,485	10,261	▲ 223	74	203	128
その他	415	487	72	5	10	5
調整額	▲ 318	▲ 367	▲ 48	▲ 24	▲ 18	5
合計	10,581	10,382	▲ 199	55	194	139

一部の海外連結子会社の決算日を変更した影響については、売上高は「資源・エネルギー・環境」で109億円、「社会基盤・海洋」で3億円、「産業システム・汎用機械」で117億円増加しています。
営業利益では「資源・エネルギー・環境」で6億円、「産業システム・汎用機械」で20億円がそれぞれ増加しています。

1. 2016年度第3四半期 連結決算

報告セグメント別内訳(営業利益の前年同期比増減要因)

(億円)

	売上高の 増減	工事採算 の変動	為替の変動	販管費の 変動	合計
資源・エネルギー・環境	▲ 20	▲ 39	▲ 16	▲ 9	▲ 83
社会基盤・海洋	5	190	▲ 7	2	190
産業システム・汎用機械	26	35	▲ 6	▲ 15	40
航空・宇宙・防衛	35	1	▲ 85	31	▲ 18
報告セグメント計	46	187	▲ 114	9	128
その他	10	▲ 8		3	5
調整額		▲ 10		15	5
合計	56	169	▲ 114	27	139

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合があります。

1. 2016年度第3四半期 連結決算 営業外損益

(億円)

	'15年度3Q	'16年度3Q	増 減
金融収支	▲ 5	▲ 1	3
持分法による投資損益	21	2	▲ 18
為替差損益	▲ 23	▲ 39	▲ 16
その他	▲ 29	▲ 69	▲ 39
営業外損益	▲ 35	▲ 107	▲ 71

期末日レートの変動(米ドル) '15年度3Q +0.44円 (期首120.17円→3Q末120.61円)
'16年度3Q +3.81円 (期首112.68円→3Q末116.49円)

1. 2016年度第3四半期 連結決算 特別損益

(億円)

	'15年度3Q	'16年度3Q	増減	備考
関係会社損失引当金取崩益	—	16	16	
負ののれん発生益	—	10	10	シールド事業再編関連
関係会社株式譲渡に係る利益	—	7	7	建機事業再編関連
特別利益	—	35	35	
債務保証損失引当金繰入額	—	▲ 98	▲ 98	(株)UNIGENへの3Q末保証債務残高から回収可能な見積額を控除して引当(※)
工事契約変更に係る補償金	—	▲ 22	▲ 22	海洋構造物事業案件での契約変更に伴う補償
投資有価証券評価損	—	▲ 11	▲ 11	
契約納期遅延に係る費用	▲ 472	—	472	・一部ボイラ工事での溶接部位の補修対応を要因とする納期遅延損害金 ・トルコ イズミット湾横断橋建設工事での事故対応を要因とする納期遅延損害金
特別損失	▲ 472	▲ 131	341	

(※)本年1月31日に(株)UNIGENの全株式についてアピ株式会社へ譲渡しました。

1. 2016年度第3四半期 連結決算 連結貸借対照表

(億円)

	'15年度末	'16年度3Q末	増 減
資産合計	17,150	17,178	28
(うち 売上債権)	(4,448)	(3,810)	(▲ 638)
(うち 棚卸資産)	(4,103)	(4,689)	(585)
負債合計	13,816	13,988	171
(うち 仕入債務)	(2,974)	(2,793)	(▲ 181)
(うち 前受金)	(1,803)	(2,084)	(280)
(うち 有利子負債残高)	(3,745)	(4,239)	(494)
純資産合計	3,333	3,190	▲ 143
株主資本	3,058	2,956	▲ 101
その他の包括利益累計額	124	53	▲ 71
負債・純資産合計	17,150	17,178	28
D/Eレシオ(※)	1.12倍	1.33倍	0.21倍
自己資本比率	18.6%	17.5%	▲ 1.1%

有利子負債残高には、リース債務残高('15年度末:179億円, '16年度3Q末:206億円)を含んでいます。

(※) D/Eレシオ=有利子負債/純資産

1. 2016年度第3四半期 連結決算 補足資料

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'15年度3Q	'16年度3Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	▲ 166	144	310
投資キャッシュ・フロー	▲ 411	▲ 365	46
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 577	▲ 220	357
財務キャッシュ・フロー	519	346	▲ 173

1. 2016年度第3四半期 連結決算 補足資料

(2) 研究開発費・設備投資額・減価償却費 (億円)

	'15年度3Q	'16年度3Q
研究開発費	282	228
設備投資額	325	359
減価償却費	338	342

設備投資額、減価償却費は、有形固定資産に係る金額を示しています。

(3) 海外売上高 (億円)

	'15年度3Q	'16年度3Q
アジア	1,343	1,340
中国	590	627
北米	2,560	2,257
中南米	168	210
欧州	1,087	891
その他	270	260
合計	6,021	5,588
海外売上高比率	57%	54%

2. 2016年度 連結業績見通し

2. 2016年度 連結業績見通し 通期業績見通し

前提為替レート 米ドル **110円**（前回見通し公表時 **100円**）
 （第4四半期） ユーロ **120円**（前回見通し公表時 **110円**）

（億円）

	前回見通し ('16年度通期) A	今回見通し ('16年度通期) B	増 減 B-A
受 注 高	14,000	14,000	0
売 上 高	15,000	15,000	0
営 業 利 益	380	380	0
経 常 利 益	180	180	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	0	0

前回見通しは、2016年10月24日公表の業績予想数値です。

（参考）為替感応度（為替相場の1円の変動により、営業利益に与える影響額）

米ドル 2億円 ユーロ 0億円

2. 2016年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高通期見通し)

(億円)

	前回見通し (’16年度通期)	今回見通し (’16年度通期)	増 減
資源・エネルギー・環境	4,300	4,100	▲ 200
社会基盤・海洋	1,200	1,200	0
産業システム・汎用機械	4,300	4,300	0
航空・宇宙・防衛	4,100	4,300	200
報告セグメント計	13,900	13,900	0
そ の 他	700	700	0
調 整 額	▲ 600	▲ 600	0
合 計	14,000	14,000	0

前回見通しは、2016年10月24日公表の業績予想数値です。

2. 2016年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(売上高・営業利益通期見通し)

(億円)

	前回見通し ('16年度通期)		今回見通し ('16年度通期)		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
資源・エネルギー・環境	4,700	90	4,500	▲ 90	▲ 200	▲ 180
社会基盤・海洋	1,600	▲ 150	1,600	▲ 150	0	0
産業システム・汎用機械	4,100	120	4,100	140	0	20
航空・宇宙・防衛	4,500	360	4,700	520	200	160
報告セグメント計	14,900	420	14,900	420	0	0
その他	700	20	700	20	0	0
調整額	▲ 600	▲ 60	▲ 600	▲ 60	0	0
合計	15,000	380	15,000	380	0	0

前回見通しは、2016年10月24日公表の業績予想数値です。

2. 2016年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(営業利益の増減要因)

(億円)

	売上高の 増減	工事採算 の変動	為替の変動	販管費の 変動	合計
資源・エネルギー・環境	▲ 30	▲ 160	10		▲ 180
社会基盤・海洋					0
産業システム・汎用機械		10		10	20
航空・宇宙・防衛		120	40		160
報告セグメント計	▲ 30	▲ 30	50	10	0
その他					0
調整額					0
合計	▲ 30	▲ 30	50	10	0

3. 報告セグメント別の概況

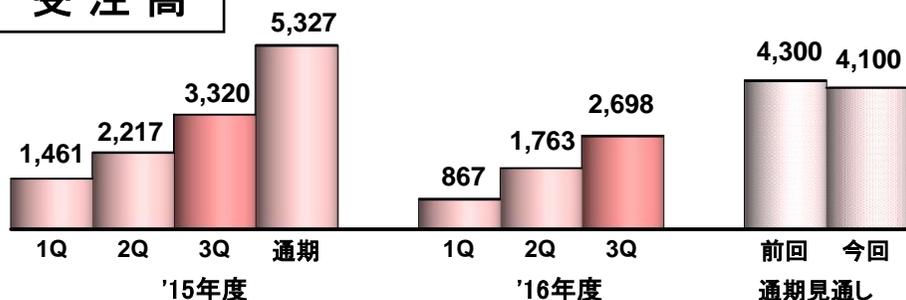
3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円/各期の金額は累計)

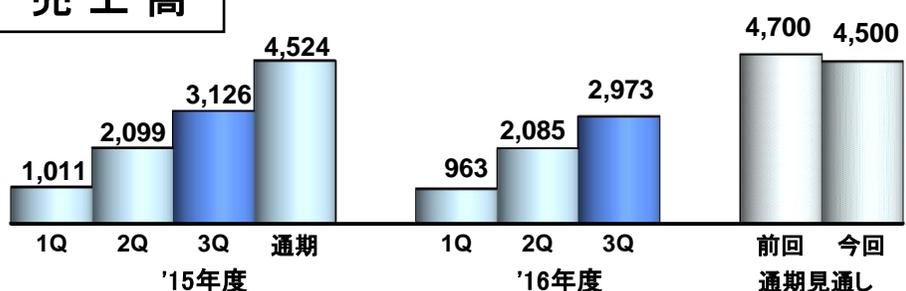
前回: 2016年10月24日公表の業績予想数値

主要事業: ボイラ, 原動機プラント, 陸船用原動機, 船用大型原動機, プロセスプラント, 原子力, 環境対応システム, 医薬プラント

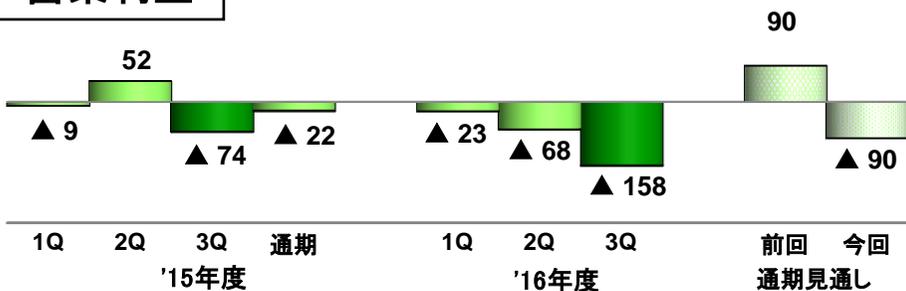
受注高



売上高



営業利益



<対前年同期 増減内訳>

【受注高】

ボイラにおいて前年同期に大型案件の受注があったことの影響や、原油安の影響によって陸船用原動機の受注が低迷していることにより、前年同期に比べ減少しました。

【売上高】

ボイラにおいて大型工事の進捗に伴う増収があったものの、プロセスプラントの減収及び陸船用原動機の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

【営業利益】

陸船用原動機の減収の拡大に加えて、プロセスプラントにおいて北米で遂行中の大型プロジェクトでの採算悪化の影響などにより、赤字幅が拡大しました。

<通期見通し 対前回 増減内訳>

受注高については、原動機プラントにおける受注案件の期ずれの影響で減少となる見込みです。

売上高・営業利益については、主にプロセスプラントの採算悪化により減収・減益となる見込みです。

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高		売上高							
	'15年度 通期	'16年度 通期 (見通し)	'15年度				'16年度			
			1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
ボ イ ラ	1,701	900	182	447	569	808	245	609	861	1,200
原 動 機 プ ラ ン ト	221	250	43	90	198	318	58	104	140	200
陸 船 用 原 動 機	811	650	209	376	577	778	133	264	388	500
プ ロ セ ス プ ラ ン ト	1,071	800	306	634	951	1,231	215	486	629	1,100
原 子 力	386	400	38	110	147	325	22	69	127	350

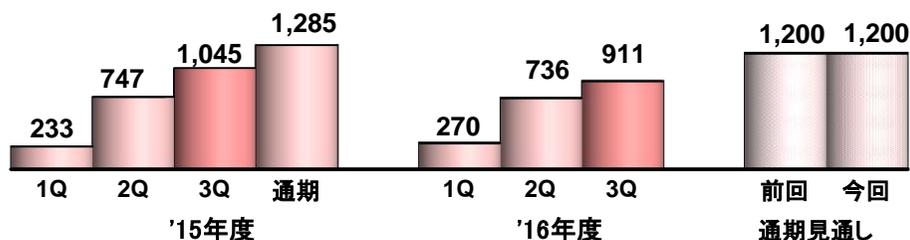
3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

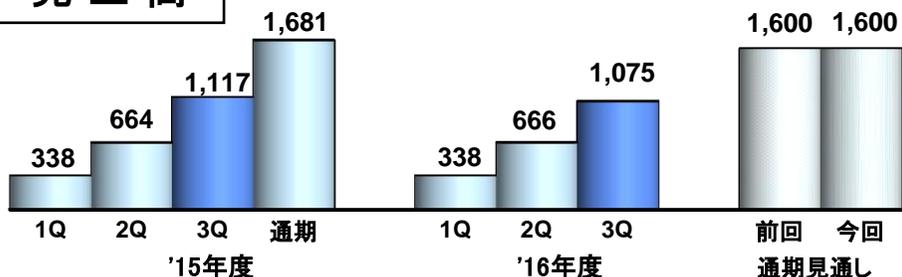
前回: 2016年10月24日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, シールド掘進機, 交通システム, 都市開発,
F-LNG(フローティングLNG貯蔵設備, 海洋構造物)

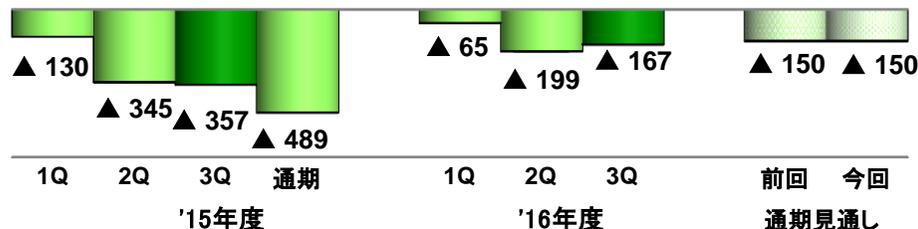
受注高



売上高



営業利益



<対前年同期 増減内訳>

【受注高】

コンクリート建材や橋梁・水門の減少により, 前年同期に比べ減少しました。

【売上高】

事業統合を行なったシールド掘進機の増収があったものの, 橋梁・水門が, トルコイズミット湾横断橋建設工事の完成に伴って減収となった影響もあり, 前年同期に比べ減収となりました。

【営業利益】

橋梁・水門の採算改善のほか, 前年同期におけるF-LNGの大幅な採算悪化の反動により, 前年同期に比べ赤字幅が縮小しました。

<通期見通し 対前回 増減内訳>

受注高は変更ありません。

売上高・営業利益は, F-LNGが海洋構造物事業案件の契約変更に伴い減収となる一方で, シールド掘進機が増収増益となるため, 前回の通期見通しを維持する見込みです。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高		売上高							
	'15年度	'16年度	'15年度				'16年度			
	通期	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
橋梁・水門	766	650	175	337	533	760	150	306	449	600
F-LNG	▲ 155	0	36	68	144	214	80	107	146	250
都市開発	162	150	51	88	127	176	34	71	106	150

「都市開発」の豊洲地区関連情報は、P33、P34の<参考資料>をご覧ください。

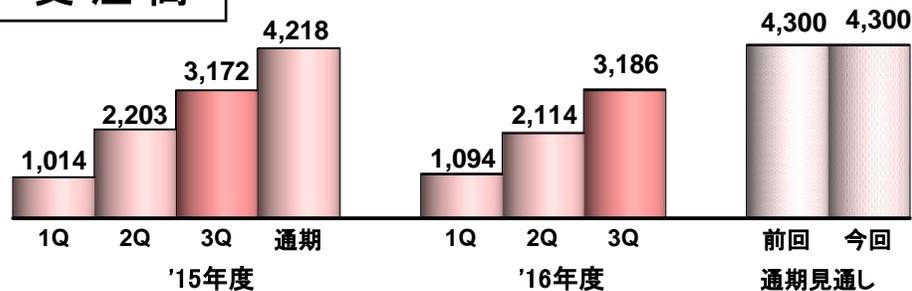
3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

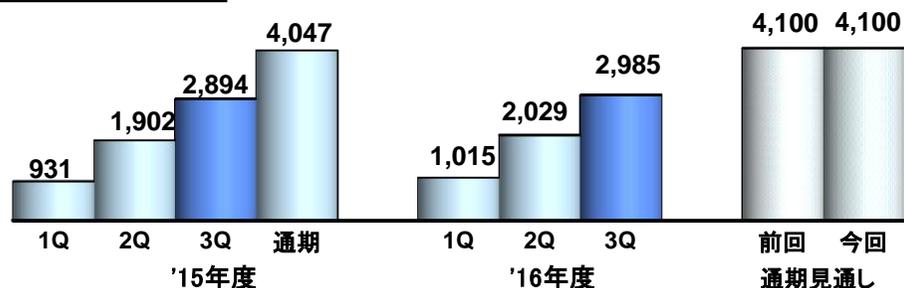
前回: 2016年10月24日公表の業績予想数値

主要事業: 船用機械, 物流・産業システム, 運搬機械, パーキング, 熱・表面処理, 車両過給機, 回転機械, 建機, 農機・小型原動機

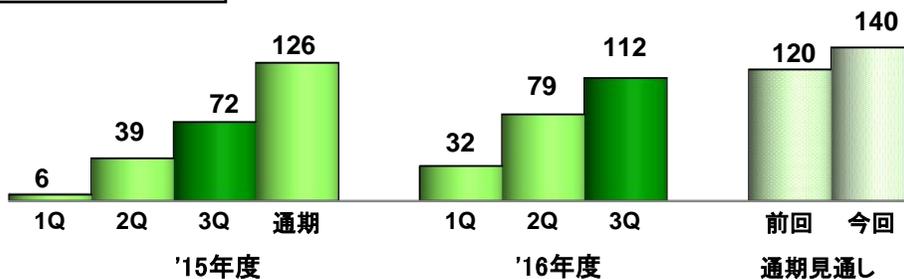
受注高



売上高



営業利益



<対前年同期 増減内訳>

【受注高】

建機の事業譲渡による影響はあったものの、車両過給機や製紙機械、熱・表面処理の増加により、前年同期に比べほぼ横ばいとなりました。

【売上高】

建機の事業譲渡による影響のほか、農機・小型原動機の減収があったものの、車両過給機、回転機械及び物流・産業システムの増収により、前年同期に比べ増収となりました。

<車両過給機の販売台数>

(万台)

販売年度	3Q累計	通期
'15年度	407	536
'16年度	452	607

【営業利益】

上記の増収に加え、パーキング、物流・産業システム及び回転機械の採算改善により、前年同期に比べ増益となりました。

<通期見直し 対前回 増減内訳>

営業利益は、車両過給機における採算改善や、販管費の削減を図ることにより、増益となる見込みです。受注高、売上高は変更ありません。

3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高		売上高							
	'15年度 通期	'16年度 通期 (見通し)	'15年度				'16年度			
			1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
運搬機械	358	350	35	98	156	218	54	116	165	250
パーキング	396	400	87	195	298	426	75	184	296	400
熱・表面処理	298	330	70	145	231	317	78	156	232	350
車両過給機	1,620	1,700	440	828	1,218	1,616	474	868	1,293	1,700
回転機械	487	500	84	194	295	464	103	217	337	500

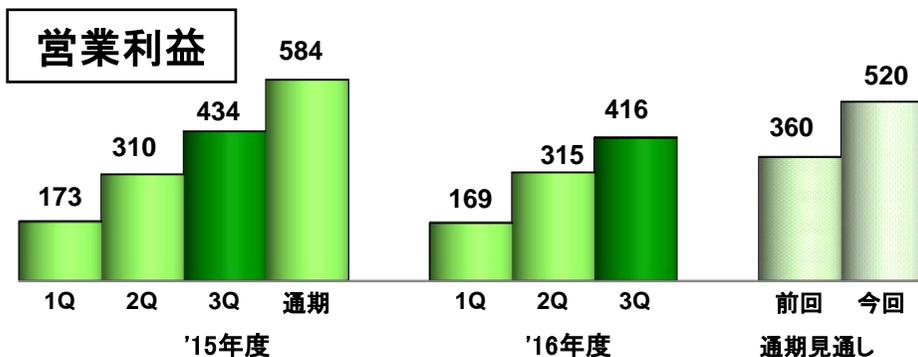
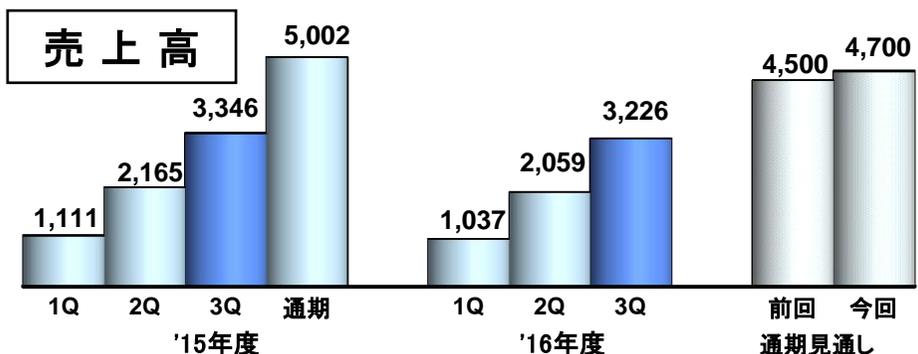
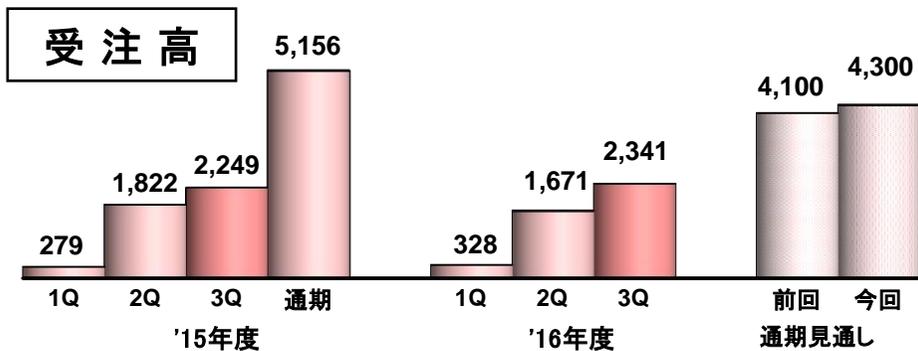
「車両過給機」の詳細は、P32の<参考資料>をご覧ください。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

前回: 2016年10月24日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用, 防衛機器システム



<対前年同期 増減内訳>

【受注高】

ロケットシステム・宇宙利用や航空エンジンの増加により、前年同期に比べ増加しました。

【売上高】

為替円高の影響などにより民間向け航空エンジンが減少したことや、前年同期に防衛機器システムにおいて艦艇用ガスタービンの引渡しがあったことにより、減収となりました。

<民間向け航空エンジンの販売台数>

(台)

販売年度	3Q累計	通期
'15年度	957	1,260
'16年度	957	1,330

【営業利益】

次世代大型機用航空エンジンGE9Xが量産準備のステージに移行したことにより研究開発費が減少したものの、為替円高による航空エンジンの減収の影響により、前年同期に比べ減益となりました。

<通期見直し 対前回 増減内訳>

受注高・売上高については、為替影響等により増加する見込みです。

営業利益は、上述の増収影響に加え、民間向け航空エンジンの採算改善により、増益となる見込みです。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高		売上高							
	'15年度	'16年度	'15年度				'16年度			
	通期	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期 (見通し)
民間向け 航空エンジン	2,761	3,000	778	1,490	2,242	2,991	698	1,352	2,083	3,100

「民間向け航空エンジン」の詳細は、P31の<参考資料>をご覧ください。

< 参考資料 >

- ・海外大型案件の進捗状況
- ・当第3四半期のトピックス
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

コーブポイント天然ガス液化設備



2016年12月現在



重質分除去塔設置

<進捗状況>

2016年12月末現在で、設計及び機器の発注はほぼ完了し、現在、架構及び配管工事が進行中。プロジェクト全体の進捗率は約80%。

<主要工程>

2013年4月: 契約締結
 2014年9月: FERC (米国連邦エネルギー規制委員会)の建設許可承認(仮設工事着工承認)
 2015年3月: 起工式挙行
 2017年1~3月: DCS(プラント制御装置)運転開始
 2017年中頃: メカニカル・コンプリーション
 2017年10~12月: 運転開始

<プロジェクト概要>

- ・契約内容: コーブポイント天然ガス液化設備のEPC契約
- ・建設地: 米国メリーランド州, ラスビー, チェサピーク・ベイ
- ・担当範囲: 年産約525万トンの液化設備の設計, 建設, 試運転および運転開始

ジマイーストパワー石炭火力発電所



完成予想図



2016年12月末現在

<進捗状況>

2016年12月末現在, 杭打・基礎工事が進行中。#1ボイラエリアの基礎工事がほぼ完了し, 2017年1月から, ボイラ鉄骨の据付が開始される。ボイラ部分の進捗は設計: 約80%, 調達: 約35%, プロジェクト全体: 約25%。

<主要工程>

2014年 8月: 契約締結	2018年10月: 火入れ(#1)
2017年 1月: 立柱(#1)	2019年 4月: 火入れ(#2)
2017年 7月: 立柱(#2)	2019年 6月: 運転開始(#1)
2018年 4月: 水圧試験(#1)	2019年12月: 運転開始(#2)
2018年11月: 水圧試験(#2)	

<プロジェクト概要>

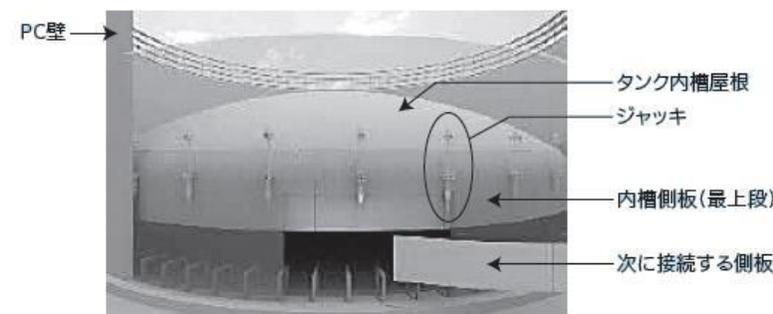
- ・契約内容: IPP事業者のJimah East Power社向け石炭焼き発電所のフルターンキー契約
- ・建設地: マレーシア, ネグリスンビラン州ジマ地区
- ・担当範囲: 超々臨界圧石炭火力発電所ボイラ(1000MW×2基)の設計・調達・建設及び試運転

相馬港向け大容量LNGタンク連続受注

当社は清水建設株式会社と共同企業体を組み、福島ガス発電株式会社から、地上式LNGタンク(貯蔵容量23万kl)1基の設計・調達・建設業務を受注しました。

本受注は、石油資源開発株式会社(JAPEX)の相馬LNG基地に建設中の地上式LNGタンクに続く、福島県・相馬港におけるLNGタンクの連続受注となります。建設にあたっては、当社が開発した新工法「J. C. Method®」を本件でも引き続いて適用することにより、建設工期の大幅な短縮を実現していきます。

本受注を通じて福島の復興に貢献するとともに、世界のエネルギー需要が増大する中、環境に配慮したエネルギーを安定供給するために、今後も積極的に受注活動を行っていきます。



「J. C. Method®」施工イメージ図

豊洲2-1街区再開発

当社が地権者である、豊洲二丁目駅前地区2-1街区において、代表施行者の三井不動産株式会社が、「(仮称)豊洲二丁目駅前地区第一種市街地再開発事業2-1街区 AC棟」新築工事に着工しました。新たに建設される複合ビルは2020年4月に完成し、当社は、三井不動産と共同で賃貸事業を行なう予定です。

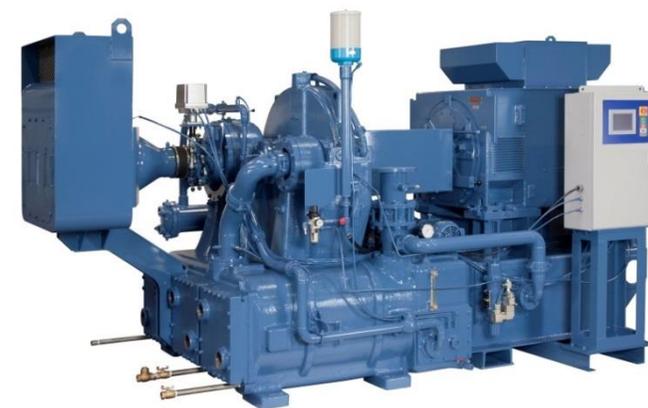
建設される複合ビルでは、商業施設やオフィスに加えて、当社が手掛けている豊洲再開発地区としては初めてとなるホテルが開業する予定です。その他にも、BCP(事業継続計画)向上の観点から、免震構造の採用や、高効率の分散型電源であるガスコージェネレーションを備えたエネルギーセンターの設置を計画しています。このエネルギーセンターからは、周辺建物へのエネルギー供給も可能で、豊洲地区の防災をより一層強化することを目指します。



トルコにおける汎用ターボ圧縮機の合併会社設立

トルコにおける汎用スクリー圧縮機のリーディングカンパニーであるDALGAKIRAN MAKINA SAN. VE TIC. A.S.と、汎用ターボ圧縮機の生産・販売拠点となる同国での合併会社設立について、昨年10月21日に契約調印しました。

汎用ターボ圧縮機は、自動車をはじめとする世界中のあらゆる産業で幅広く使用されており、昨今の全世界的な地球温暖化防止・環境問題への関心、お客さまの省エネ志向の高まりを受けて、今後もグローバルな成長が見込まれています。このような中、成長が見込まれ、さらに周辺地域へのアクセスに至便なトルコにおいて合併事業会社を設立し、同国市場のみならず需要の底堅い欧州・中東市場などの周辺地域への事業展開を図っていきます。



IHI汎用ターボ圧縮機

イプシロンロケット2号機の打ち上げ

当社のグループ会社である株式会社IHIエアロスペースが機体システムの開発・製造を担当した宇宙航空研究開発機構(JAXA)のイプシロンロケット2号機が昨年12月20日に打ち上げられ、ジオスペース探査衛星を正常に分離したことが確認されました。

今回の成功により、今後の打ち上げ需要に対応するために、当社グループが取り組んできた打ち上げ能力向上、衛星搭載スペースの拡大といったロケットシステム関連の技術開発の成果が実証されたものと捉えております。当社グループは、今後ともロケットシステム関連の技術開発とその研鑽に励み、日本の宇宙開発事業の発展に尽力していきます。



©JAXA

(1) 民間向け航空エンジン: 連結売上高推移

(億円)

	実績											見通し	
	'11	'12	'13	'14	'15年度				'16年度				
					1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計		通期
売上高	1,436	1,698	2,260	2,670	778	1,490	2,242	2,991	698	1,352	2,083	3,100	

(2) 民間向け航空エンジン: 累計販売台数

(台)

	実績(累計)												主要搭載機
	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16/3Q	
V2500	2,850	3,154	3,474	3,828	4,168	4,551	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,160	エアバス A319/320/321
GE90	464	579	742	896	1,071	1,223	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,418	ボーイング B777
CF34	1,027	1,374	1,802	2,274	2,604	2,919	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,744	リージョナルジェット (70~110席級)
GEnx							118	259	468	751	1,035	1,224	ボーイング B787/B747-8
PW1100G											16	86	エアバス A320Neo
合計	4,341	5,107	6,018	6,998	7,843	8,693	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,632	

(注) 販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なります。

<地域別連結売上高推移>

(億円)

	実績											見通し	
	'11	'12	'13	'14	'15年度				'16年度				
					1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計		通期
日 本	331	339	353	375	84	172	255	346	85	180	274	380	
ア ジ ア	169	248	298	275	78	129	166	216	66	96	127	150	
中 国	143	181	234	243	71	118	179	249	118	205	343	460	
北 米	11	13	16	18	5	12	18	24	13	19	25	30	
中 南 米	0	0	0	7	8	16	24	34	29	43	50	60	
欧 州	437	432	602	756	192	378	573	743	160	322	471	620	
そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	1,094	1,216	1,507	1,677	440	828	1,218	1,616	474	868	1,293	1,700	

(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	実績											見通し	
	'11	'12	'13	'14	'15年度				'16年度				
					1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計		通期
賃貸収入	95	92	91	93	25	50	76	101	23	46	70	93	

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'16年度3Q	70	26	17	25

豊洲1~3丁目地区 開発マップ

豊洲IHビル
地上25F, 高さ: 約125m, 延床面積: 97,617㎡
2006年2月竣工



幼稚園, 保育園, カフェ, 結婚式場
敷地面積: 19,492㎡
2010年3月~2011年2月竣工



アーバンドック ららぽーと豊洲ANNEX (三井不動産)
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡
2006年10月開業

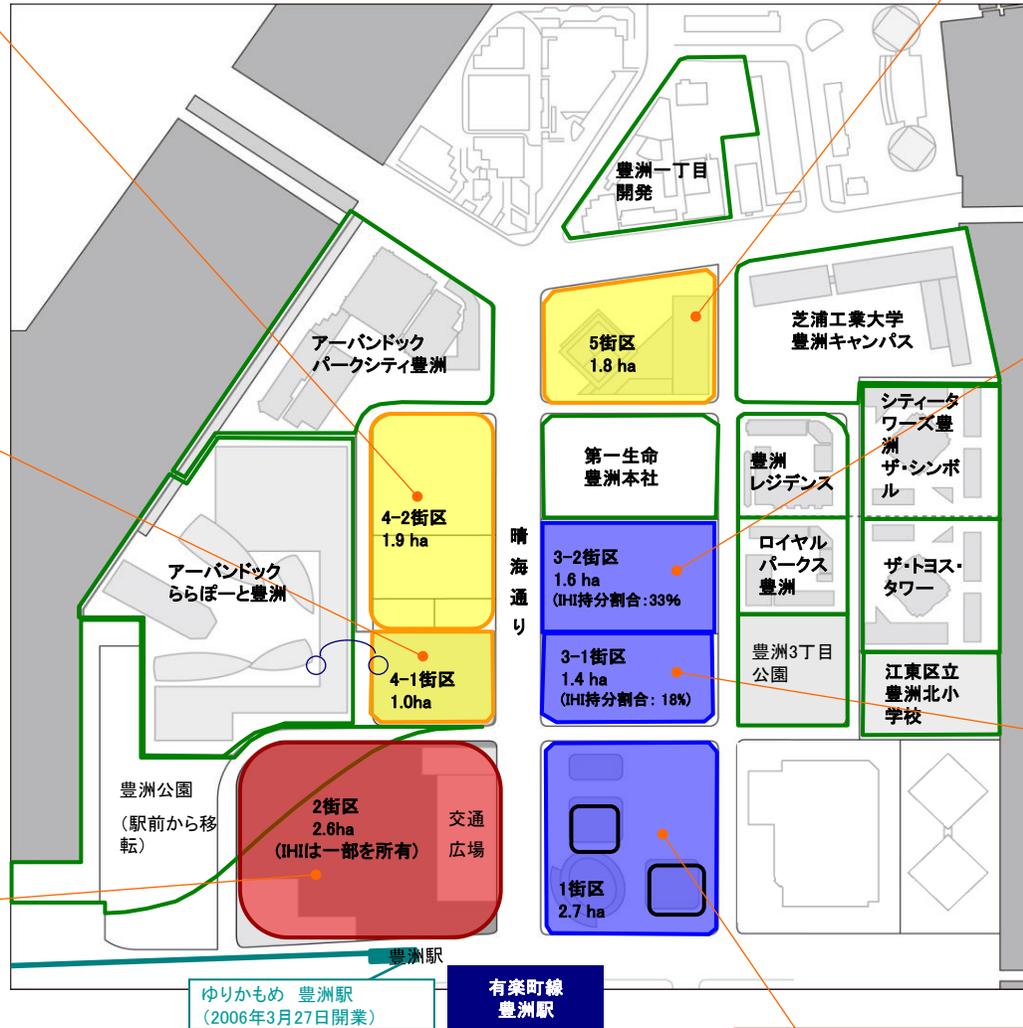


複合ビルAC棟 (IHI, 三井不動産)
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年4月竣工予定



シビックセンター棟: 2015年9月開業
消防署棟: 2016年6月竣工

IHI所有地	約8ha
--------	------



- 建物買貸
- 土地買貸
- 第一種市街地再開発事業 ※1
- 売却・寄付・交換済

豊洲フォレシア (IHI, 三菱地所(SPC))
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡
2014年7月竣工



豊洲フロント (IHI, 三菱地所(SPC), 三菱UFJ信託銀行)
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡
2010年8月竣工



豊洲センタービル
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡
1992年10月竣工

豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡
2006年8月竣工

IHI

Realize your dreams

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。